



つちの職員 ご紹介します

介護部 廣田洋一郎

こんにちは。4階介護職員
の廣田と申します。早い
もので1年の半分である6
月も終わり、後半の7月に
突入します。今年は何年の
梅雨時期に比べ雨の日が少
ないようですが、その分太
陽が照り、暑い日が多く感
じられます。体調も崩しや
すい季節ですので、利用者
様はもちろん、私たち職員
自身も体調管理をしっかり
と行いたいと思っていま
す。

私事ですが、私は当施設
へ来て1年が過ぎ、6月に
30歳を迎えました。私は
レクリエーション委員とし
て、日常のレクリエーショ
ンの他、毎月第4日曜日に
お誕生日会の司会進行いま
せていただいています。ま
ま、お祝いも様々なゲーム
体操、歌等で利用者様に楽
しんでいただいています。
もつと喜んでいただけるレ
クリエーションを提供し、
利用者様から「よかったです」
とお声を掛けていただけたら
いいなと思います。

さて、8月6日に施設行
事として行なう納涼祭も私た
ち七名様が入所されまし
た。今後、共に在宅復帰を
目指しにお世話させていただきます。
宜しくお願ひします。

介護通信教室

いわゆる3大介護、食事・
排泄・入浴について「障害
別」にそれぞれの「介護」
のポイントをお伝えしてい
きます。今回は脳卒中のあ
とに片麻痺が残った方の食
事介護についてです。

☆食事介護とは？

食事は私たちが生存する
為に欠かせないものです
る。時に人は生きる為だけ
に食事をしているのではあ
りません。食事は快楽し
みであり、私たちが3度の
食事をする度に「私は生存
するために食事をしている
だ」とはあまり意識して
はいないのではないでしょ
うか？それよりも今日のご
飯はなんだろう？私の好物
が出たらいいな、等と考
えていると思います。「生存
」という第一義的な要素の
みならば胃に直接栄養剤を
注入する胃ろうというもの
もありますし、それで事足り
るわけです。しかし、口か
ら食べ物を食べられないと
したら、私たちに大きな
不満が残るでしょう。食事
は「楽しむ」為にあるもの
だと考えるならば、「楽し
み」が「苦痛」にならない
ようにすることが食事介護
だと言えらると思います。

六月の入所者様

上田春子様

塚田フサ子様

萬世佐賀恵様

上北正和様

竹原富子様

他七名様が入所されまし
た。今後、共に在宅復帰を
目指しにお世話させていただきます。
宜しくお願ひします。



☆食事介護のポイント

① 食事は私たちが生存する
為に欠かせないものです
る。時に人は生きる為だけ
に食事をしているのではあ
りません。食事は快楽し
みであり、私たちが3度の
食事をする度に「私は生存
するために食事をしている
だ」とはあまり意識して
はいないのではないでしょ
うか？それよりも今日のご
飯はなんだろう？私の好物
が出たらいいな、等と考
えていると思います。「生存
」という第一義的な要素の
みならば胃に直接栄養剤を
注入する胃ろうというもの
もありますし、それで事足り
るわけです。しかし、口か
ら食べ物を食べられないと
したら、私たちに大きな
不満が残るでしょう。食事
は「楽しむ」為にあるもの
だと考えるならば、「楽し
み」が「苦痛」にならない
ようにすることが食事介護
だと言えらると思います。

☆食事前に嚥下訓練☆

施設では食事前に嚥下訓
練というところで次のよう
なことを皆様と実践してい
ます。①「ば、た、か、な
」と声に出して発音する②首
の回転③唾飲みこみ④舌の
運動⑤深呼吸。その他にも
訓練方法があり、色々と組
み合わせて実施しております。
ご家族の皆様もどうぞ
一度実践してみてください。
普段私たちは食べ物を
食べているときに舌や喉の
動きというのを特に意識し

施設紹介

色々な施設の種類をこれ
から随時ご紹介していまし
す。初回は老健です。
介護老人保健施設、略し
て老健とは、積極的な治療
は必要ないものの、医療ケ
アを必要としている原則六
五歳以上の高齢者を受け入
れ、在宅生活に向けたリハ
ビリテーションなどを行う
施設です。病院と自宅の中
間施設という位置づけで、
入所期間は三月月六九月
をめどとし、機能回復を
行つて自宅に帰すものとし
て設立されました。しかし
実際には、長期入所が増え
特別養護老人ホーム(特養
との差がなくなりつつあり
ます。

制度上の特養との違い
は、医師が常勤で配置され
ていること。そして看護師
にも夜勤があることです。
また、薬剤費など、入所者
の医療ケアにかかる費用は
施設の利用料には含まれ
ています。これも老健の大
きな特徴です。

介護保険法が始まるまで
(平成二年前)は特別
養護老人ホームも含めて、
入所は役所が決めることで
した。これを措置と言いま
す。しかし、介護保険が始
まった後は、利用者様と施
設とのマンツーマンの契約
となりました。この変更は
大きな転換でした。それま
では押しなべて同じような
サービスを提供すればよ
かったのですが、今後は施
設ごとの考え方の違いが際
立つてくると思われま

お知らせ

来月八月六日(日)にス
ローライフ八尾において第
二回納涼祭を行います。趣
向を凝らした出店を用意
し、利用者様に楽しんで
いただくと思っております。
そしてメインイベントに
は花火を企画しています。
また納涼祭についてはよい
お考えなどありましたら施
設までお知らせ下さい。参
考にさせていただきます。思
います。

施設にはレクリエーショ
ン委員会というものが設置
されています。「単調にな
りがちな施設利用者様に変
化と活気を」という心構えで
今後もさまざまな行事・レ
クリエーションを考えてい
きたいと思っております。
御家族様の協力を仰ぐこ
ともあると思いますが、よ
ろしくお願ひ致します。

食べ物にはご注意ください
食中毒が怖い季節になり
ました。施設内に掲示して
おります通り、食べ物には居
室内に残さないように願
ひ致します。食べ切れない
ものは、残ったものは
お持ち帰り頂くようお願い
致します。

